

# 校長室だより

令和4年(2022年)  
9月15日発行(No.14)  
柏原市立堅上小学校  
校長 小森 美智代

## 2学期 始動 ～できることを精一杯～



2学期が始まって、2週間がたちました。堅上小の子どもたちは、生活のリズムの崩れもなく、元気に登校して、学校生活を送っています。学習だけでなく、今年は、3年ぶりに実施される幼小中合同体育大会に向けての練習にも熱が入っています。実施日が少し早い上に3連休があり、実質の練習期間が短いことを少し心配していたのですが、余計な心配でした。子どもたちの頑張りがカバーしてくれています。

まだ先の見えない状況ですが、できることを考え、思い出に残る行事や活動を行っていきたいと思います。



実習生 Y先生

始業式の様子です。夏休み明けは、生活のリズムも整わず話を聞く姿勢も注意することが多いと聞きますが、堅上小学校の子どもたちは違います。どの子も、ピンと背中を伸ばし、話し手の顔をしっかりと見つめ、始業式での話を聞いています。これは、話している方もとても気持ちが良くなります。その後は、全員で大掃除を行い、少しほこりのたまっていた教室と廊下や階段も分担してピカピカにしました。

それからその教室で授業が始まりました。初めての絵の具にドキドキの1年生、おもちゃ作りにチャレンジする2年生。新しい算数の単元に取り組む5年生。2学期のスタートは、ばっちりでした。これからも毎日が楽しみです。



## 幼小中合同体育大会に向けて…みんなはりきっています。



幼小中体育大会の練習が始まっています。まずは、ホールで練習。幼稚園のお友だちも初めての練習とは思えないほど上手でした。高学年は、堅上若竹ばやしも楽しい感じがします。実習生のY先生は、堅上小学校出身の先輩です。リズムを取りながらアドバイスをしてくれています。低学年のダンスも、もう出来上がりって思うくらい可愛く踊っています。ホールの練習に少しでも涼しい風を送るために、大きな扇風機を購入しました。



## 学び続ける姿 自由研究編



道路に見られるマンホール。実はよく見てみると、地域によって、ご当地の有名なものがかたどられていることに気がついて、どんなのがあるのか調べてみました。もう一つは、おうちで飼っているカブトムシの様子を毎日じっくり観察した様子をまとめています。どちらも時間がかかったと思います。わかりやすくまとめられていました。



二人の実習生が、先生になるための勉強中です。それぞれ4年生と6年生の教室を中心に、他の学年の先生の授業も参観に行きます。

短い間ですが、これから夢に向かって頑張れる糧にしてほしいと願っています。みんなも一緒に頑張りましょう。



実習生 S先生